

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(地歴)科目：(日本史A) 対象：(第2学年1組～7組)

科目担当者：(1～7組:伊藤伸 @)

教科・科目の指導目標	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義を見いだす。
------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	日本史については1年時に日本史の学力を測定する物さしがないため、詳細な分析はできない。高校入試の社会科については、高得点を記録した者はいなかった。読書、新聞、ニュースに触れる機会が少ないことから、一般常識や基礎学力が不足している。公民、地理を苦手とする生徒も多いため、地理や政治経済とも連携させていく。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICTを使用し図表や写真を使用しながら、視覚的に歴史事象をとらえさせる。 2. 教科書の内容から精選した歴史事象をまとめたプリントを中心に授業を展開し基礎学力の定着を図る。 3. 史料読解を行い、史実をより正確に捉えさせる。 4. 歴史事象と現代との繋がりを意識させるために、時事問題を取り上げる。 5. 単元ごとに小テストを実施し、知識の定着を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書と配布プリントを中心に学習する。 2. 配布プリントに書き込みをするだけでなく、教科書にも書き込みを行い、学習内容を整理させる。 3. ICTや図表を活用し、視覚的な学習を適宜、取り入れる。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			